

区民の皆様へ

三輪自治協設立10周年記念特別号

第46号

三輪地区



住民自治協議会だより

平成31年4月20日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 徳武 康夫
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647
E-mail:miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp

会長あいさつ

自治協発足10周年を迎えて

三輪地区住民自治協議会 会長 徳武 康夫

平成20年12月6日、10町、約17,000人で構成する三輪地区住民自治協議会が発足しました。

「自分たちのまちは、自分たちでつくる」の理念のもと、2年半に及ぶ準備期間を経て、組織、会則、体制、事業等を整え、第一歩を踏み出しました。その後行政との窓口の一本化、必須事務と運営交付金を定めた市長との基本協定書の締結など進める一方、中長期を見据えた「三輪地区地域福祉活動計画」を策定し、基本目標の設定や事業の位置付けの明確化など組織固めを行いつつ6部会を中心にその実現に取り組んできました。今年度は第2次計画の最終年になります。基本目標に掲げた「一人ぼっちにならない、させない福祉の町三輪」の実現にはまだまだ道半ばですが、引き続き取り組みに努めたいと思っています。

高齢化、独居、認知症、少子化等、様々な課題が増加しています。一方、三輪地区は保育園から大学まで揃っている文教地区でもあり、特に県立大学の開学は4年後には約1,000人の学生がこの地に集結し、学生の多くが地区内に居を構えることも想定されています。この若いエネルギーを地域としてどのように迎え入れ、一体感と活性化に結び付けていくかが新たなまちづくりの課題だと思います。

自治協は、市の都市内分権の推進母体としての役割とともに、安心して住みやすいまちづくりを大きな目的の一つに位置づけています。「福祉」と「学校との連携」を柱に据えた新たな取り組みに全住民の参加を願っています。

10周年という節目を迎え、次のステージに向けて新たな決意を認識し合うとともに、今までご尽力頂いた関係者はじめ住民の皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。



歴代会長のことば

追憶

初代会長 高野 雅美

当時、長野市は長野市版都市内分権・住民自治という市制方針を強く推し進めていた。

市側の説明会・先進地視察・近隣地区との情報交換等を重ねる中で、設立準備会を立ち上げた。

「僕の前に道はない 僕の後に道は出来る……」高村光太郎の詩『道程』の一節である。私たちの求めた三輪自治協への歩みはこの詩の書き出しのように、三輪地区らしいありようを求めて、役員一丸となつて知恵を出し合い、思いをぶつけ合ってスタートした。

私は第1回通常総会で会長の任を辞した。

1年後、第2回通常総会に出席し、自治協が力強く一步を踏み出した姿に、胸を熱くした。そして、10年が過ぎた。その歩みの確かさは「自治協だより」が証明している。

次は、この10年間の礎からどのような一步を踏み出すのか、楽しみでもある。

三輪自治協の設立に携わって

2代会長 山際 宏

平成18年長野市の都市内分権に沿って、三輪地区にも住民自治協議会を創ろうと区長を中心に協議。その為には地区内の問題点を把握し、住民の意向に沿った組織にする為、各段階に分け数回に亘ってアンケートを実施、問題点の把握に努めました。

その結果、平成20年12月6日、6部会からなる「三輪地区住民自治協議会」を発足。特に、地区10区の区長を、また、各種団体長をどのように位置づけるかが問題となりました。

区長は、各区行政の長であり、各種団体長もそれぞれ団体の長として責任を負っているからであります。

私達は区長を中心に各種団体を含め一つの企業体にすべく努力。そして、皆が憩える組織として他地区にない「区民広場部会」を創りスタートしました。・

お陰様で10年後の今では、ボランティアセンターが出来、地区皆の「憩いの場」となりました。

関係各位に心から感謝申し上げるとともに、更なる発展を祈念致します。



第1回通常総会の様子



行政との懇談会（生き生き三輪みんなでトーク）

写真で振り返る

10年 の足跡



平成23年より
自治協主催となった
成人祝賀会



安心・安全部会研修会



みわ男塾（料理講習会）



平成22年の防災訓練（防災マップづくり）



平成21年に行われた人権研修の様子

三輪自治協10年を築き上げた方々

いつまでも一緒に住みたいこの町で

元副会長 小林 友雄

平成22年度、市の主導により構成されていた諸団体の事業が三輪地区住民自治協議会へ完全移行し、自治協には戸惑いが。

そんな時、山際会長が三輪自治協の「心根」ともいえる言葉を。それは、「生活に密着した諸課題を住民相互の支え合いを通して解決していくことは地域活動の不易なる課題であり喜びである」と。その言葉を基盤に『三輪地区福祉活動計画』第1次案の策定(23・4年)が。そして、三輪自治協の会歌「つなげよう絆の輪・深めよう絆の輪」もでき、区民の「合言葉」に。そこには、水を湛えた水深の深い池に一石を投じた時に描かれるような、ゆったりとした波紋にも似た安らぎの故郷・心の故郷が。そんな三輪の町で、区民が睦み合って生きている活動の姿が。

10年たった今、その願いが三輪自治協の諸活動の中で実り、発展している姿に触ることは大変な喜び! 「いつまでも一緒に住みたい三輪の町」への実感が。



第1次三輪地区地域福祉活動計画

三輪地区住民自治協議会発足10周年によせて

元教育・文化部会 副部会長 杉浦 勇子

平成20年三輪地区住民自治協議会設立に伴い、当時三輪地区社会福祉協議会が行っていた様々な事業を必須と選択事業に分類した上で、自治協のどの部会へ組み入れ推進するかの作業は至難の業であった。

時期をほぼ同じくして、「地域たすけ合い事業」の一環として福祉自動車の導入が検討されていた。それまで三輪地区は長野市社協の管轄にあり、相当数の方が利用されていた。

車の導入について9地区賛成の中、1地区は納得出来ない……と。地区へ説明に行ったこともあった。また、コーディネーターの採用にあたり面接に立ち会ったが、人を見極めることのむずかしさを実感した。こうした幾重もの変遷を辿り、平成23年9月「ひまわり号」が運行開始となり、通院等の大変な足として活躍、福祉の町三輪の幕開けを感じた。また、住民自治協発足2年目から実施している「ふれあいコンサート」が昨年9回目を迎えたことは、私にとって非常に感慨深いものがある。



福祉自動車 ひまわり号

福祉に携わって

元健康・福祉部会 部会長 北野 順子

健康福祉部会では、「生涯住み慣れた三輪の町で自分らしく安心して暮らしていくには」という住民の願いを目標に、様々な活動を実践して参りました。それが住民同士のつながりとなり、平成29年7月には念願であった「三輪地区ボランティアセンター」開所とつながりました。福祉の要である「人とのつながりをつくり、仲間と一緒に楽しく過ごすこと」で、お互い様の支え合いが生まれ、見守られることで孤独にならずに済みます。これから社会に必要なのは「支え合いの地域づくり」です。向こう三軒両隣の関係が、高齢になっても地域で暮らすことにつながるのです。



ボランティアセンターの様子

6部会が住民に寄り添った事業を実践してきたことにより目指している”福祉の町 三輪”に一步一歩近づいて来ているのではないでしょうか。10年を通して共に活動して参り、役員の方々の並々ならぬ行動力に頭が下がります。

10地区的部員、委員に支えられ、又地域を超えてたくさんの人と接することが出来、やりがいを感じた10年がありました。

環境美化10年の歩み

元環境美化部会 部会長 直江 廣雄

平成21年10月より家庭ごみの有料化が実施されました。春秋の幹線道路の美化活動および鐘錠川周辺の草取りを部員達で始める。平成23年マイマイガの大量発生により、カラマツ林中心に大規模な食害が起こる。これは10年周期で来るらしい。3月末未曾有の東日本大震災が勃発し、福島の第一原発が事故にあり、脱原発がさわがれた。燃料となるウランも100年以内に枯渇すると言われている。日本は石油やウラン等のエネルギー資源の多くは海外に依存している。平成24年地球温暖化対策として、「我が家の省エネ、省資源アイデア募集」で入選者を表彰する。

平成25年に毎月30日を「みわの日」と定め、各家庭の辺りのごみ拾いや草取りを奨励したが浸透しなかった。現在は、心ふれあう町、防災点検で安心して暮らせる町、ゴミのないきれいな町づくりのキャッチフレーズとして自治協で使われている。平成26年アメリカシロヒトリの防除の為、高枝バサミを購入し住民の皆様に貸出しを行う。平成27年空き家対策について話題となる。一時は環境美化でとりあげられたが治安や防災上の問題で特別措置法が全面施行された。

今後三輪地区の住民の皆様がリサイクルや省エネについて共通意識を持って日々の生活を送れるよう、部会として啓発に努めていかなければならぬと感じました。



ごみ集積所の点検

「区民広場部会」は何をやるんだ？からの始まり

元区民広場部会 副部会長 笠原 啓良

当部会は、ふれあいコンサート・ひまわり広場の事業を行うこととなり、どちらもゼロからのスタートで困惑しきり!! 当初はふれあいコンサートの出演者の発掘には地域のサークルを頼りに奔走。三輪小校長自らの出演に併せ、児童の出演を得るなど出演者の体制も整い、年々出演の申し込みが増え、時間・バランス等を考慮して次回出演をお願いするなど、地域の皆様の発表の場と共に音楽鑑賞の発信元として関わることが出来、“ヤッター”との思いです。



平成22年おまつり広場（ひまわり広場）



キッズ広場でのもちつき体験

また、ひまわり広場は自治協・老人クラブ等の各団体の代表者による実行委員会を組織し、子供から大人まで楽しもうをモットーに、出店広場・キッズ広場等7つの広場で毎年開催してきた。最初の頃は来場者数の予測がつかず、焼そばの麵や野菜等が残って委員に押売りしたり、また豚汁のじゃが芋が硬いと苦情がけたりで、平身低頭も懐かしい!!

教育文化部会に所属して

元教育・文化部会 部会長 宮下 正博

教育文化部会にお世話になって、気心知れた部員の皆さんとの熱意と結束力により、目指す教育・文化の各種事業に苦労を厭わず取り組んだ喜びがやりがいとなりました。

教育・文化の活動を通して、多くの方々と出会い、町のことを知り、町づくりの視野を拓く貴重な経験を得させていただきました。



キッズふれあい体験（化石発掘）

三輪自治協へのメッセージ

三輪地区内にある長野県立大学と長野女子高等学校から、今後の10年に向けて、自治協に対する期待や提案などのメッセージをいただきました。

祝!! 10周年

公立大学法人長野県立大学学務課長 金子 功

三輪地区住民自治協議会が設立10周年を迎えたこと、誠におめでとうございます。

長野県立大学も住民の方々のご理解、ご協力をいただき、昨年4月に開学することができました。以前から長野県短期大学の学生が大変お世話になり、今後も長野県立大学の学生が住民の方々からお力をいただくことになるかと存じます。

学生たちは大学内だけでなく、地域に飛び出し活動し成長してまいります。「地域住民の方々のお知恵で学生が育ち、学生の感性とパワーで地域が元気になる」そんな地域と大学の関係でありたいと願っております。

今後も地域の発展の一助になれるよう努力いたしますので、皆様のご理解、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

10周年おめでとうございます。

長野女子高等学校生徒会長 佐藤 智華

この度は10周年おめでとうございます。いつも三輪住民自治協議会さんには、私たちが地域の皆さんと関わる機会を設けていただき、とても感謝しております。今後もこの三輪地区が子どもから大人まで、お互いが理解し合い、支え合える地域にしていけるよう、一緒に様々な活動に取り組んでいけたらと思っています。これからも、よろしくお願ひいたします。



平成30年に開学した長野県立大学



平成27年11月の「ひまわり広場」に、
長野女子高生によるブースが出店



平成28年長野女子高生が環境美化に協力



長野女子高生が編集
したフリーペーパー『みわたりあん』

三輪自治協から今後の10年に向けての抱負

総務（区長）部会 部会長 竹内 喜正

「地域福祉」に力を入れていく「福祉の町三輪」と同時に、もう一本の柱として、「地域と学校の連携」を推し進め県立大学生が、地元10区の育成会の子どもたちと「交流の場」を地域公民館で開催できることを切望します。

健康・福祉部会 部会長 三ツ井 悅子

10年後、三輪地区はどのようなまちになっていたいと皆さんはお思いですか？

ミニ東京でしょうか 否

信州の素朴さ・純情さを失わず、明るい笑顔がたくさん見ることができるまちにしたい、させることができるのは今からです。

住民同士、多少なりともお互いにその気持ちで過ごせたら、と思います。

安全・安心部会 部会長 和田 俊夫

元気な町三輪、事故や事件の無い町三輪、が皆の願いです。そのために地域の皆様や学生さん達と協働し、より広範な安全運動を展開していきます。10年後の三輪地区が更に活気と賑わいに満ち、安全で安心な町で有り続けることが当部会の目標です。

環境美化部会 部会長 宮原 武

三輪の町が美しい町であってほしいと常々思っています。まず身近なゴミの分別が第一歩ですが、手の届くところから始め、勉強会などを重ね、美しい町づくりをしていきたいと思います。地球を汚さないで！

教育・文化部会 部会長 寺岡 雄三

地域社会の「教育」と「文化」を多面的には支え、老若男女が楽しめるイベントを開催していきます。また、未来の三輪地区の礎となる子供たちの健全育成を図るとともに、三輪甚句などの地域文化の継承を目指していきます。

区民広場部会 部会長 金井 和彦

「ふれあいコンサート」と「ひまわり広場」は三輪自治協誕生の翌年に始まり、今年で10回目を迎えます。年々スケールアップし内容も充実してきました。

楽しい事業ですので是非、お出かけ下さい。



平成29年の三輪地区ふれあいコンサート



平成29年のひまわり広場～魔法使いアキットを招いて～

三輪自治協 10年のあゆみ

平成20年	12月	6日	三輪地区住民自治協議会設立総会
平成21年	2月15日		自治協だより第1号発行
平成21年	4月11日		通常総会開催
平成22年	4月	1日	長野市との協働に関する基本協定書締結
平成22年	7月25日		おまつり広場開催（以後ひまわり広場として毎年開催）
平成22年	10月	3日	ふれあいコンサート
平成23年	1月	9日	自治協主催「三輪地区成人祝賀会」実施（市内唯一の自治協主催）
平成23年	8月		地域たすけあい事業スタート（家事援助）
平成23年	9月30日		地域たすけあい事業「福祉自動車ひまわり号」スタート
平成23年	12月	3日	住民集会（以後「まちづくりのつどい」として開催）
平成24年	3月		地域福祉活動計画策定（平成24～26年度）
平成26年			地域福祉懇談会（各町ごとに実施）
平成27年	3月		第二次地域福祉活動計画策定（平成27～31年度）
平成27年	8月18日		第1回住民福祉大会開催 第1回三輪地区地域福祉功労者表彰実施
平成28年	5月		小田切地区との地域間交流事業始まる
平成29年	7月		ボランティアセンター開所
平成29年	8月		認知症オレンジカフェひまわり開店
平成30年	12月	6日	三輪地区住民自治協議会設立10周年



ホームページリニューアルのお知らせ

三輪自治協のホームページを4月1日付けで全面的にリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、ご利用される皆様に自治協の活動や三輪地域の情報がより見やすく、また興味をもってご覧いただけけるよう、デザインや構成などを改善しました。

今後とも、自治協としての情報発信に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

アドレスは次のとおりです。 <http://www.miwajichikyo.com>

これからの講座等のご案内 (5月から6月)

*変更になる場合があります。

5月 9日 (木)	子どもと親の育ち合いサロン
10:00~11:30	三輪公民館 3階ホール
5月13日 (月)	スマイルボウリング
13:30~15:30	三輪公民館 3階ホール
5月16日 (木)	オレンジカフェひまわり
9:30~11:30	ボランティアセンター
5月20日 (月)	料理講習会
10:00~13:00	三輪公民館 料理教室
5月25日 (土)	ドッジボール大会
5月26日 (日)	
8:20~12:30	三輪小学校 体育館
5月26日 (土)	ワクワクみわスポーツコミュニティ
17:30~19:00	三輪体育馆

6月 3日 (月)	スマイルボウリング 13:30~15:30	三輪公民館 3階ホール
6月 6日 (木)	子どもと親の育ち合いサロン 10:00~11:30	三輪公民館 3階ホール
6月 8日 (土)	キッズふるさと体験活動「父の日うどん作り」 10:00~12:00	三輪公民館 3階ホール
6月 9日 (日)	スマイルボウリング大会 9:00~12:00	三輪小学校 体育館
6月13日 (木)	オレンジカフェひまわり 9:30~11:30	ボランティアセンター
6月30日 (日)	ふれあいコンサート 9:00~12:00	三輪小学校 体育館
6月30日 (日)	ワクワクみわスポーツコミュニティ 17:30~19:00	三輪公民館 3階ホール